

豊橋市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

～よりよい子育て支援施策の推進のため、あなたの声をお聞かせください～

豊橋市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成いたします（平成 27 年度から実施予定）。

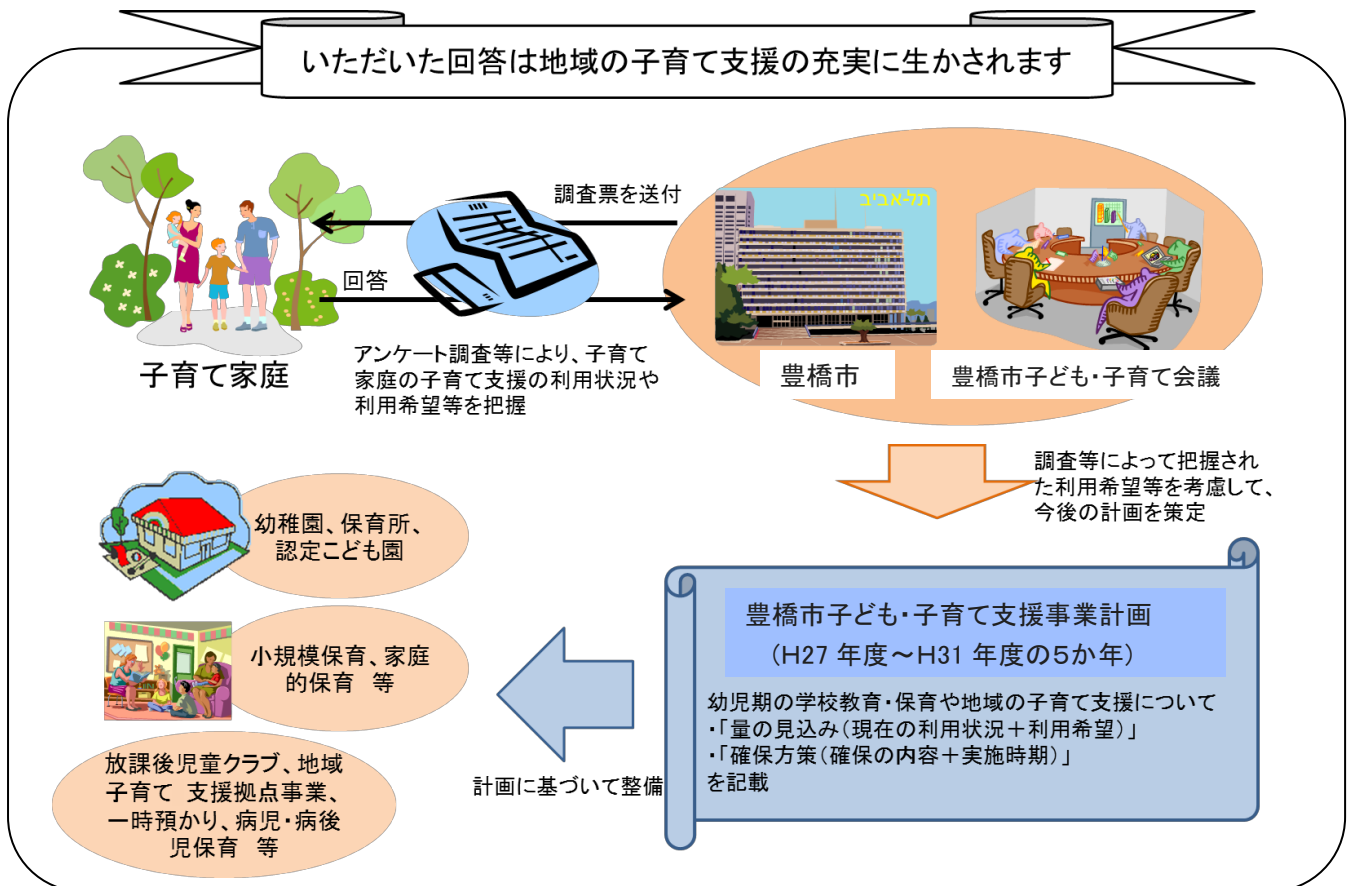
この新たな計画で必要な教育・保育・子育て支援の提供体制を確保するための「量の見込み」を算出し、また、子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、「豊橋市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施することになりました。

なお、この調査は、平成 25 年 9 月 1 日現在の住民基本台帳から 0 歳～小学校 6 年生までのお子さんのいるご家庭のうち、無作為に 12,000 世帯を選び、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、個人を特定したり、他の目的に利用することは一切ございません。

よりよい計画を作成するためには多くの皆さまから回答をいただくことが何より重要です。ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 10 月

豊橋市長 佐原 光一



11月7日（木）までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。

＜この調査に関する問合せ先＞

豊橋市福祉部子育て支援課 電話 51-2325（直通） 月～金曜日（祝日を除く）8：30～17：15

子ども・子育て支援新制度の考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

【この調査票における用語の定義】

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教育：問9までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問10以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

～ご記入にあたってのお願い～

1. アンケートには、**お子さんの保護者の方**がご記入ください。
2. ご回答は、**選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。**
3. 選択肢の場合、**お選びいただく数が設問によって異なります**ので注意書きに従ってください。また、「**その他**」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に**具体的な内容**をご記入ください。
4. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時→18時）でご記入ください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の**返信用封筒**に入れて**11月7日（木）**までにご投函ください。（**切手は不要です**）
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、**ことわり書きや矢印**に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、**表紙の問合せ先**までお願いします。

問 7-1 問 7 で「1. ～ 4.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族や友人・知人にお子さんをみてもらう時の心配や不安について、それぞれ当てはまる番号すべてに○を記入してください。

(1) 祖父母等の親族にみてもらうと答えた方	(2) 友人・知人にみてもらうと答えた方
1. 特に心配や不安はない	1. 特に心配や不安はない
2. 預ける方の身体的負担が大きく心配である	2. 預ける方の身体的負担が大きく心配である
3. 預ける方の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	3. 預ける方の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()	6. その他 ()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 8 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。「1.」～「6.」のうち当てはまる番号 1 つに○をつけてください。なお、⇒の設問がある場合には、それについてもお答えください。〔 〕内には、平均的な労働日数や時間を数字で記入してください。
※短時間勤務制度を利用されている方は、制度取得前の勤務時間でお答えください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ⇒1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間 ⇒フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号 <u>1</u> つに○をつけてください。 1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある 2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中である ⇒産休・育休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。 1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間 ⇒フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号 <u>1</u> つに○をつけてください。 1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある 2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない ⇒1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間 ⇒フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある 2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、育休・介護休業中である ⇒育休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。 1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間 ⇒フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある 2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問8で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」と回答した方がうかがいます。 ⇒該当しない方は、p.6 問10へ

問9 就労したいという希望はありますか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。〔 〕内には数字を記入してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 就労せず、子育てや家事などに専念したい	1. 就労せず、子育てや家事などに専念したい
2. 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい
3. すぐにでも就労したい	3. すぐにでも就労したい
4. 1年以内に就労したい	4. 1年以内に就労したい
3. 4. の場合、希望する就労形態について当てはまるものに○をつけてください。	3. 4. の場合、希望する就労形態について当てはまるものに○をつけてください。
ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） ⇒ 1週当たり 〔 〕日 ⇒ 1日あたり 〔 〕時間	ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） ⇒ 1週当たり 〔 〕日 ⇒ 1日あたり 〔 〕時間

問 9-1 問 9 で「3. すぐにでも就労したい」と回答した方にうかがいます。就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 保育サービスが利用できない	1. 保育サービスが利用できない
2. 育児と両立できる仕事がない	2. 育児と両立できる仕事がない
3. 就労への家族の理解がない	3. 就労への家族の理解がない
4. やりたい仕事が見つからない	4. やりたい仕事が見つからない
5. 健康上の理由	5. 健康上の理由
6. 現在妊娠中である	6. その他 ()
7. その他 ()	

II 乳幼児期の教育や保育について

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業[※]の利用状況についてうかがいます。

※「定期的な教育・保育事業」…月単位で定期的に利用している事業。具体的には、幼稚園や保育所など、下の【A群：希望する教育・保育事業】に示した事業が含まれます。

問 10 現在、利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業について、お子さんの成長にあわせて年齢ごとに希望する事業を下の【A群：希望する教育・保育事業】から選んで枠内に番号を記入してください。(現在のお子さんの年齢から5歳までについてお答えください。)

また、その事業を希望する上で重視する条件について、当てはまる条件を右ページの【B群：事業を希望する上で重視する条件】から3つまで選んで枠内に番号を記入してください。

あわせて、1週あたりの利用希望日数、1日あたりの希望時間も記入してください。なお、事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

	A群：希望する教育・保育事業 (希望事業すべて)	B群：事業を希望する上で重視する条件 (3つまで)	1週あたり 希望日数	1日あたり 希望時間
0歳			日	時間
1歳			日	時間
2歳			日	時間
3歳			日	時間
4歳			日	時間
5歳			日	時間

【A群：希望する教育・保育事業】 (希望する事業すべての番号を上の方のA群欄に記入)

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用 ※満3歳以上が対象)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ ※満3歳以上が対象)
3. 保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 家庭的保育 (保育者の家庭等で子どもを保育する事業)
6. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
7. その他の認可外の保育施設
8. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
9. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
10. 児童発達支援事業所 (障害児通所施設)
11. その他 ()

【B群：事業を希望する上で重視する条件】（3つまで選んで左ページのB群欄に番号を記入）

1. 教育・保育の内容や方針が希望にあう	2. 教員・保育士・保護者の質が高い
3. 施設や設備が充実している	4. 園庭がある
5. 利用可能時間帯が希望にあう	6. 認可されている施設である
7. 利用料が適正である	8. 親の負担の程度が軽い
9. 親が運営・行事などに関わる機会が多い	10. 自宅からの距離が近い
11. 利用する駅や職場からの距離が近い	12. その他（ ）

問 11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 11-1 へ	2. 利用していない ⇒ p. 8 問 11-4 へ
-----------------------------	-----------------------------------

問 11 で、「1. 利用している」と答えた方にうかがいます。

問 11-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業について、当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）	2. 幼稚園の預かり保育
3. 保育所	4. 認定こども園
5. 家庭的保育	6. 事業所内保育施設
7. その他の認可外の保育施設	8. 居宅訪問型保育
9. ファミリー・サポート・センター	10. 児童発達支援事業所（障害児通所施設）
11. その他（ ）	

問 11-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを〔 〕内に具体的な数字で記入してください。

(1) 現在	1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 ⇒〔 〕時～〔 〕時 ※24時間制で記入
(2) 希望	1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 ⇒〔 〕時～〔 〕時 ※24時間制で記入

問 11-3 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ ）

問 11 で、「2. 利用していない」と答えた方にうかがいます。

問 11-4 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。〔 〕内には数字を記入してください。

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため ⇒ 〔 〕 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他（ ） |
|---|

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業※の利用希望についてうかがいます。

※「教育・保育事業」…幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業。親族・知人による預かりは含みません。

問 12 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

(1) 土曜日

- | | | |
|---|-----|--------------------------------------|
| 1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい | } ⇒ | 利用したい時間帯
〔 〕時から 〔 〕時まで ※24 時間制で記入 |
|---|-----|--------------------------------------|

(2) 日曜日・祝日

- | | | |
|---|-----|--------------------------------------|
| 1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい | } ⇒ | 利用したい時間帯
〔 〕時から 〔 〕時まで ※24 時間制で記入 |
|---|-----|--------------------------------------|

問 13 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

- | | | |
|--|-----|--------------------------------------|
| 1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい | } ⇒ | 利用したい時間帯
〔 〕時から 〔 〕時まで ※24 時間制で記入 |
|--|-----|--------------------------------------|

**あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

⇒平日の定期的な教育・保育事業を利用していない方（問11で2. に○をつけた方）は p.10 問15 へ

問 14 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた方（問11で1に○をつけた方）にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|------------|---------|----------------|
| 1. あった | ⇒ 問 14-1 へ | 2. なかった | ⇒ p. 10 問 15 へ |
|--------|------------|---------|----------------|

問 14 で、「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）。

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が休んだ	年間〔 〕日	⇒問 14-2 へ
イ. 母親が休んだ	年間〔 〕日	
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	年間〔 〕日	⇒p.10 問 15 へ
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間〔 〕日	
オ. 病児・病後児の保育を利用した	年間〔 〕日	
カ. ベビーシッターを利用した	年間〔 〕日	
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	年間〔 〕日	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間〔 〕日	
ケ. その他 ()	年間〔 〕日	

問 14-1 で、「ア.」または「イ.」と答えた方にうかがいます。

問 14-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。次に、⇒の設問についてもお答えください。〔 〕内には数字を記入してください。なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思った

⇒利用したい日数 年間〔 〕日

⇒利用する場合、いずれの事業形態が望ましいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. 家に来てもらい預かる事業
5. その他 ()

2. 利用したいとは思わなかった

⇒その理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 利用可能時間、日数などが利用しにくい
4. 近くにないため利用しにくい（⇒施設まで〔 〕分くらいなら利用したい）
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 親が仕事を休んで対応する
8. その他 ()

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業等の利用についてうかがいます。

問 15 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も〔 〕内に数字で記入してください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時保育 (私用など理由を問わずに保育所で一時的に子どもを保育する事業)	年間 〔 〕日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	年間 〔 〕日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	年間 〔 〕日
4. 子育て支援トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間に子どもを預かる事業)	年間 〔 〕日
5. 認可外保育施設・託児所	年間 〔 〕日
6. ベビーシッター	年間 〔 〕日
7. その他 ()	年間 〔 〕日
8. 利用していない ⇒現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号 <u>すべてに</u> ○をつけてください。 1. 特に利用する必要がない 2. 利用したい事業が地域にない 3. 利用料がかかる・高い 4. 利用料がわからない 5. 事業の質に不安がある 6. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない 7. 自分が事業の対象者になるのかわからない 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 9. その他 ()	

問 16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を〔 〕内に数字で記入してください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を〔 〕内に数字で記入してください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	年間 計 〔 〕日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、 リフレッシュ目的	年間 〔 〕日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	年間 〔 〕日
ウ. 不定期の就労	年間 〔 〕日
エ. その他 ()	年間 〔 〕日
2. 利用する必要はない	

問 17 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください。

1年間の対処方法		泊数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	年間 〔 〕 泊
	イ. 子育て支援ショートステイを利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)	年間 〔 〕 泊
	ウ. 「イ」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	年間 〔 〕 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	年間 〔 〕 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間 〔 〕 泊
	カ. その他（ ）	年間 〔 〕 泊
2. なかった		

あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ **5歳未満の方は、p.13 問23へ**

問 18 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。なお、☆印の事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週〔 〕日くらい
4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕☆ ※1	週〔 〕日くらい ⇒下校時から〔 〕時まで ※24時間制で記入
5. 放課後子ども教室 ※2	週〔 〕日くらい
6. ファミリー・サポート・センター ☆	週〔 〕日くらい
7. 放課後等デイサービス ☆ ※3	週〔 〕日くらい
8. その他（市民館、公園など）	週〔 〕日くらい

※1 「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。放課後や土曜日、長期休暇日など、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合に、指導員の下、子どもの遊び及び生活の場を提供するものです。

※2 「放課後子ども教室」…豊橋市では、①放課後児童クラブが利用できない校区、②外国籍児童の多い校区で、地域の方々の協力を得て、放課後の時間を過ごす場を提供しています（①は自主学习や遊び、②は外国籍児童を対象とした学習支援）。いずれも保護者の就労の有無は問いませんが、土日祝日や夏休み等の長期休暇中は利用できません。

※3 「放課後等デイサービス」…学校通学中の障害児に対して、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等の支援を行います。

問 19 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。かなり先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。なお、☆印の事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週〔 〕日くらい
4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕☆ ※1	週〔 〕日くらい ⇒下校時から〔 〕時まで ※24時間制で記入
5. 放課後子ども教室 ※2	週〔 〕日くらい
6. ファミリー・サポート・センター ☆	週〔 〕日くらい
7. 放課後等デイサービス ☆ ※3	週〔 〕日くらい
8. その他（市民館、公園など）	週〔 〕日くらい

※1「放課後児童クラブ」、※2「放課後子ども教室」、※3「放課後等デイサービス」については、p.11 問18参照

問 18 または問 19 で「4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。

問 20 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 ※24時間制で記入
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		〔 〕時から〔 〕時まで
3. 利用する必要はない		

（2）日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 ※24時間制で記入
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		〔 〕時から〔 〕時まで
3. 利用する必要はない		

問 21 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 ※24時間制で記入
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		〔 〕時から〔 〕時まで
3. 利用する必要はない		

すべての方にうかがいます。

問 22 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場がある場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもに遊びを伝えたり、教えたり、しつけをしてくれる場
2. 子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場
3. 子どもが土日に活動したり、遊んだりできる場
4. 子ども自身が悩みを相談できる場
5. その他（ ）

III 育児休業制度について

育児休業の取得状況についてうかがいます。

問 23 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※「育児休業制度」…現行の育児・介護休業法（平成22年6月30日施行（一部平成24年7月1日施行））では、従業員は、事業主に申し出ることにより、子の1歳の誕生日の前日まで、原則1回に限り、育児休業を取得することができます。（両親がともに育児休業をするなど一定の要件を満たす場合は、原則1歳までから1歳2か月までに育児休業期間を延長できます。また、子が1歳以降、保育所に入れないなど一定の要件を満たす場合は、子が1歳6か月に達するまでの間、育児休業期間を延長できます。）なお、公務員の場合は原則として子が3歳の誕生日の前日まで育児休業を取得できます。

(1) 母親	(2) 父親
1. 働いていなかった ⇒p. 15 問24へ	1. 働いていなかった ⇒p. 15 問24へ
2. 取得した（取得中である） ⇒問23-1へ	2. 取得した（取得中である） ⇒問23-1へ
3. 取得していない ⇒p. 14 問23-5へ	3. 取得していない ⇒p. 14 問23-5へ

母親と父親のそれぞれについて、指示された設問に進んで回答してください。

問 23 で「2. 取得した（取得中である）」と答えられた方にうかがいます。

問 23-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、職場復帰した方は、希望していた復帰時期と実際の復帰時期を〔 〕内に数字で記入してください。現在育児休業中の方は、現在予定している職場への復帰時期を記入してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒希望：子が〔 〕歳〔 〕か月の時 ⇒実際：子が〔 〕歳〔 〕か月の時	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒希望：子が〔 〕歳〔 〕か月の時 ⇒実際：子が〔 〕歳〔 〕か月の時
2. 現在も育児休業中である ⇒子が〔 〕歳〔 〕か月の時復帰予定 ⇒p. 14 問23-3へ	2. 現在も育児休業中である ⇒子が〔 〕歳〔 〕か月の時復帰予定 ⇒p. 14 問23-3へ
3. 育児休業中に離職した ⇒p. 14 問23-4へ	3. 育児休業中に離職した ⇒p. 14 問23-4へ

問 23-2 問 23-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と答えられた方のうち、育児休業の取得期間が希望と実際に異なる方にうかがいます。職場復帰の時期が希望と異なる理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

①母親	②父親
1. 希望する保育所に入るため	1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）	5. その他（ ）

(2) 「希望」より遅く復帰した方

①母親	②父親
1. 希望する保育所に入れなかったため	1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）	6. その他（ ）

問 23-3 問 23-1 で「2. 現在も育児休業中である」と答えた方にうかがいます。職場への復帰時期を決める理由として、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 ()	1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 ()

問23-4 問23-1で「3. 育児休業中に離職した」と答えた方にうかがいます。育児休業中に離職した理由について、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 預けられる保育所が見つからず、育児休業も延長できなかった 2. 復帰後の職場環境が、仕事と子育ての両立ができる態勢ではなかった 3. 実際に子どもが生まれて、仕事より子育てに専念しようと思った 4. 保護者または子どもの健康上の理由 5. その他 ()	1. 預けられる保育所が見つからず、育児休業も延長できなかった 2. 復帰後の職場環境が、仕事と子育ての両立ができる態勢ではなかった 3. 実際に子どもが生まれて、仕事より子育てに専念しようと思った 4. 保護者または子どもの健康上の理由 5. その他 ()

問 23 で「3. 取得していない」と答えた方にうかがいます。

問23-5 育児休業を取得していない理由として、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した 15. 自営業 16. その他 ()	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 仕事に戻るのが難しそうだった 4. 昇給・昇格などが遅れそうだった 5. 収入減となり、経済的に苦しくなる 6. 保育所などに預けることができた 7. 配偶者が育児休業制度を利用した 8. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 9. 子育てや家事に専念するため退職した 10. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった) 11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 12. 育児休業を取得できることを知らなかった 13. 自営業 14. その他 ()

IV 出産や子育てについて

出産や子育ての考え方についてうかがいます。

問 24 理想とする子どもの数と、実際にいる（予定している）子どもの数は何人ですか。

1. 理想とする子どもの数	人
2. 実際（予定）の子どもの数 ※今後子どもを産む予定のある方は予定している子どもの数を含む	人

問 24 で実際（予定）の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない方にうかがいます。

⇒該当しない方は問 25 へ

問 24-1 子どもの数が理想より少ない主な理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てや教育にかかる費用が大きい	2. 仕事と育児の両立が難しい
3. 住宅が狭い	4. 子どもを育てるには生活環境が悪い
5. 教育・保育サービスが十分ではない	6. 育児の身体的、精神的負担に耐えられない
7. 子育てよりも自分たちの生活を楽しまたい	8. 配偶者や家族が子どもをあまり好きではない
9. 子育てを手助けしてくれる人がいない	10. 高齢や健康などの問題で出産が難しい
11. 子どもの将来の環境に不安がある	12. その他（ ）

すべての方にうかがいます。

問 25 お子さんが生まれる前に子育てに関して知っておきたかったことについて、母親と父親それぞれ①～⑥に1つずつ○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

区 分	(1) 母親			(2) 父親		
	そう思う	そう思わない	どちらとも言えない	そう思う	そう思わない	どちらとも言えない
①子どもの心と体の成長	1	2	3	1	2	3
②子どもとの接し方	1	2	3	1	2	3
③母乳・ミルクの飲ませ方	1	2	3	1	2	3
④子育て支援などの制度的なこと	1	2	3	1	2	3
⑤親としての心構え	1	2	3	1	2	3
⑥妊娠中の経過	1	2	3	1	2	3

問 26 仕事と子育てに関する男女の生き方について、母親と父親それぞれにとっての現状と理想について、当てはまる番号1つに○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

	(1) 母親	(2) 父親
現状	1. 子育てよりも仕事を優先している 2. 仕事と子育ての両立を図るよう努めている 3. 仕事より子育てを優先している 4. その他（ ）	1. 子育てよりも仕事を優先している 2. 仕事と子育ての両立を図るよう努めている 3. 仕事より子育てを優先している 4. その他（ ）
理想	1. 子育てよりも仕事を優先したい 2. 仕事と子育ての両立を図るよう努めたい 3. 仕事より子育てを優先したい 4. その他（ ）	1. 子育てよりも仕事を優先したい 2. 仕事と子育ての両立を図るよう努めたい 3. 仕事より子育てを優先したい 4. その他（ ）

問 27 男性が女性とともに家事や子育て、教育に積極的に参加するためには何が重要だと思えますか。母親と父親それぞれの考えについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける 2. 労働時間の短縮や休暇制度を普及させる 3. 夫婦の間で家事などの協力をするように十分に話し合う 4. 家事などを男女で協力するようなしつけや育て方をする 5. 男女平等に対する意識を高める教育をする 6. 男性の仕事優先の生き方、考え方を改める 7. 家事や子育てへの参加などに対する抵抗感をなくす 8. その他 ()	1. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける 2. 労働時間の短縮や休暇制度を普及させる 3. 夫婦の間で家事などの協力をするように十分に話し合う 4. 家事などを男女で協力するようなしつけや育て方をする 5. 男女平等に対する意識を高める教育をする 6. 男性の仕事優先の生き方、考え方を改める 7. 家事や子育てへの参加などに対する抵抗感をなくす 8. その他 ()

問 28 女性が育児をしながら働き続けるために、今の社会に何が重要だと思えますか。母親と父親それぞれの考えについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 求職、転職など女性の就労の相談窓口の充実と情報提供を行う 2. 育児に関する施設・サービスを向上する 3. 育児休業制度などの法・制度を充実する 4. 短期勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの制度を導入する 5. 職場での結婚・出産による退職の慣行を是正する 6. 男女平等な昇進、教育訓練など、企業へ労働条件向上の働きかけをする 7. パート就労の課税基準など、女性に関わる税・年金制度の見直しを行う 8. 女性就労に関する理解を深めるため、雇用主や社会への意識啓発を行う 9. 男性の家事・育児参加など、働く女性への家族支援や理解の啓発を行う 10. その他 ()	1. 求職、転職など女性の就労の相談窓口の充実と情報提供を行う 2. 育児に関する施設・サービスを向上する 3. 育児休業制度などの法・制度を充実する 4. 短期勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの制度を導入する 5. 職場での結婚・出産による退職の慣行を是正する 6. 男女平等な昇進、教育訓練など、企業へ労働条件向上の働きかけをする 7. パート就労の課税基準など、女性に関わる税・年金制度の見直しを行う 8. 女性就労に関する理解を深めるため、雇用主や社会への意識啓発を行う 9. 男性の家事・育児参加など、働く女性への家族支援や理解の啓発を行う 10. その他 ()

子育てに関する悩みや不安感についてうかがいます。

問 29 子育てに関して、不安などを感じることはありますか。当てはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 子どもの病気や発育・発達に不安がある	2. 子どもの食事や栄養に不安がある
3. 子どもの教育（学力、しつけ）に不安がある	4. 子どもの友だちづきあいに不安がある
5. 配偶者の協力が少ない	6. 配偶者と子育ての意見が合わない
7. 子育てにかかる経済的な負担が大きい	8. 子育ての大変さを身近な人が理解してくれない
9. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	
10. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからない	
11. 住宅が狭い	12. 転入等で子育て支援サービス、相談先がわからない
13. 近くに子どもの遊び場がない（公園や児童館など）	14. その他 ()
15. 不安や負担などは感じない	

問 30 子育てをする上で、母親と父親それぞれの体調やお気持ちなどについてお答えください。①～⑨について1つずつ○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

区 分	(1) 母親			(2) 父親		
	そう思う	そう思わない	言えない どちらとも	そう思う	そう思わない	言えない どちらとも
①子育てに不安や負担を感じる	1	2	3	1	2	3
②子育ての方法がよくわからない	1	2	3	1	2	3
③子どもとの接し方に自信が持てない	1	2	3	1	2	3
④子どもとの時間を十分にとれない	1	2	3	1	2	3
⑤自分のやりたいことが十分にできない	1	2	3	1	2	3
⑥何もやる気が起こらないことがある	1	2	3	1	2	3
⑦子育てによる身体の疲れが大きい	1	2	3	1	2	3
⑧子育てによる精神的な疲れやストレスが大きい	1	2	3	1	2	3
⑨子どもを虐待しているのではないかと思うときがある	1	2	3	1	2	3

問 31 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問31-1へ

2. いない／ない ⇒ 問31-2へ

問 31 で「1. いる／ある」に○をつけた方うかがいます。

問 31-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------------------|---------------------|-----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 祖父母等の親族 | 3. 友人や知人 | 4. 近所の人 |
| 5. 職場の人 | 6. 園や学校の保護者仲間 | 7. 園や学校の先生 | 8. 医師・看護師・栄養士 |
| 9. 保健所こども保健課（旧母子保健センター） | 10. 子育てサークルや子育て中の仲間 | | |
| 11. 地域の民生・児童委員、主任児童委員 | 12. 子育て支援団体 | | |
| 13. 子育て支援 SNS* | 14. つどいの広場 | 15. 子育て支援センター | |
| 16. ここにこサークル | 17. こども未来館の子育てプラザ | 18. 市役所の家庭児童相談室 | |
| 19. 市役所の母子自立支援員 | 20. 児童相談センター | 21. 民間の電話相談 | |
| 22. その他（ ） | | | |

※子育て支援 SNS…子育てや子育て支援に関する情報交換を目的とした、インターネット上でのソーシャルネットワークサービス

問 31 で「2. いない／ない」に○をつけた方うかがいます。

問 31-2 気軽に相談できる先（人）がいない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 配偶者に相談できない |
| 2. 身近に相談できる祖父母や親族がいない |
| 3. 転入したばかりで周囲に相談できる友人・知人がいない |
| 4. 自分が住む地域の誰（どこ）に相談すればよいのか分からない |
| 5. 相談することが好きではない |
| 6. その他（ ） |

V 豊橋市の子育て環境・子育て支援サービスについて

子育て環境や子育て支援サービス全般についてうかがいます。

問 37 豊橋市は子育てする上で住みよいまちだと思えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. どちらかと言えばそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. わからない | |

問 38 豊橋市は子育てをする環境として、現在どのように感じていますか。また、これからの子育て環境を充実させるために何が重要だと思えますか。下記の①～⑳について、「(1) 現在」、「(2) これから」のそれぞれ1つずつに○をつけてください。

区 分	(1) 現在				(2) これから			
	そう 思う	思 い ど ち ら か よ い ま ち だ	思 わ な い	い そ う 思 わ な い	そう 思う	思 い ど ち ら か よ い ま ち だ	思 わ な い	い そ う 思 わ な い
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
②子どもの教育環境が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥希望した時期に保育サービスを利用できる	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦保育所での多様な保育サービスが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧子育ての相談窓口が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩子育て家庭への経済的援助が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬外国籍家庭への子育て支援が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑮子どものための医療施設が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑯子育てが家族や地域の人に支えられている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑰同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑱地域で子育てをする環境が整備されている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる	1	2	3	4	1	2	3	4

区 分	(1) 現在				(2) これから			
	そう思う	思う い え ば そ う	どちら か と 思 わ な い	い そ う 思 わ な い	そう思う	思う い え ば そ う	どちら か と 思 わ な い	い そ う 思 わ な い
⑳子育て支援に積極的な企業が多い	1	2	3	4	1	2	3	4
㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4

個別の子育て支援施策に関することについてうかがいます。

各種子育て支援サービスについてうかがいます。

問 39 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑫の事業ごとに、(1)～(3)のそれぞれについて、「1.」か「2.」のいずれかに○をつけてください。なお、①～②は今後お子さんができた場合を想定してお答えください。

サービスや施設の種類の種類	(1) 知っていますか	(2) これまでに利用した ことがありますか	(3) 今後、利用 したいですか
①パパママ教室 保健所子ども保健課や医療機関で、新たに親となる人たちの育児に関する勉強会を行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
②産婦・新生児訪問 生後1か月までの赤ちゃん宅に助産師などが家庭訪問します	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
③子育て支援情報ポータルサイト「育なび」 子育てに関する市の情報を、目的や子どもの年齢別などで分かりやすく提供しているホームページです	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
④赤ちゃんの駅 市内のおむつ替えや授乳ができる施設や店舗を赤ちゃんの駅として登録し、紹介しています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑤一時保育 家庭での保育が一時的に困難な時に保育所で保育を行います	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑥病児・病後児保育 保育所等に通う児童が病気中または病気回復期に保護者に代わって保育します	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑦保育所子育て支援地域活動 いくつかの保育所で、園庭開放による親子交流活動や相談活動、サークルの育成・活動支援などを行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑧私立幼稚園地域活動(子育て広場など) いくつかの幼稚園で、園庭開放による親子交流活動や相談活動、サークルの育成・活動支援などを行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑨子育て支援ショートステイ 保護者の病気・出産・冠婚葬祭などによる児童の一時的な預かりを行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑩子育て支援トワイライトステイ 保護者が仕事などで平日の夜間(午後4時～10時までの4時間以内)または休日に養育できない時に、児童の一時的な預かりを行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑪ファミリー・サポート・センター 子育ての援助をできる地域住民が、保育所の送迎や子どもの一時的な預かり等を行います	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑫家庭教育講座、幼児ふれあい教室 地区市民館などで、親と子のふれあいを図るための各種講座を開催しています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない

サービスや施設の種類の種類	(1) 知っていますか	(2) これまでに利用した ことがありますか	(3) 今後、利用 したいですか
⑬こども未来館「ここにこ」 乳幼児とその保護者を主な対象とした子育てプラザ、幼児や小学生を主な対象とした体験・発見プラザなどがあります	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑭交通児童館 幼児の親子遊び教室や自転車の乗り方教室などを行っています。プレイルームや図書室もあります。	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑮家庭児童相談室 市役所子育て支援課内にあり、家庭における児童の諸問題の相談に応じています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない

※⑤⑥⑨⑩⑪及び⑬の一部は利用料が必要

地域における子育て支援についてうかがいます。

問 40 あて名のお子さんは、現在、下記にあるような地域子育て支援拠点事業（0～3歳の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字で記入してください。

利用している事業・回数	
1. つどいの広場 親子が自由に遊び、情報交換ができる交流の場です。あいトピア、牟呂地域福祉センター、交通児童館の3か所で、週3日開催しています。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度
2. 子育て支援センター 育児相談や遊びの広場、親同士の交流の場の提供、広報紙の発行、育児サークルの活動支援等を行っています。吉田方子育て支援センター、東山子どもセンターの2か所で、週5日開催しています。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度
3. こども未来館の「子育てプラザ」 親子が自由に遊び、ふれあい、交流できる場です。子育ての相談や情報提供もを行っています。こども未来館の1階にあります。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度
4. ここにこサークル 親子が集い、遊びや育児情報の交換や、仲間づくりができる場。地域のボランティアの先輩ママさんやスタッフが待っています。市民館等で月1～2回開催しています。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度
5. いずれも利用していない	

問 41 問 40 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号 1つ に○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字で記入してください。

1. 利用していないが、今後利用したい ⇒1週間当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度								
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい ⇒1週間当たり 更に〔 〕回 もしくは 1か月当たり 更に〔 〕回程度								
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない ⇒利用したいと思わない、利用日数を増やしたいと思わない理由								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td>1. 利用したいサービスが地域にない</td> <td>2. サービスの質に不安</td> </tr> <tr> <td>3. 利便性が悪く利用しづらい（立地・時間・頻度等）</td> <td>4. 時間が無い</td> </tr> <tr> <td>5. 利用方法が分からない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. その他（ 〕</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1. 利用したいサービスが地域にない	2. サービスの質に不安	3. 利便性が悪く利用しづらい（立地・時間・頻度等）	4. 時間が無い	5. 利用方法が分からない		6. その他（ 〕	
1. 利用したいサービスが地域にない	2. サービスの質に不安							
3. 利便性が悪く利用しづらい（立地・時間・頻度等）	4. 時間が無い							
5. 利用方法が分からない								
6. その他（ 〕								

子どもの遊び場や居場所についてうかがいます。

問 42 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 近くに遊び場がない | 2. 雨の日に遊べる場所がない |
| 3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない | 4. 遊具などの種類が充実していない |
| 5. 不衛生である | 6. いつも閑散としていて寂しい感じがする |
| 7. 遊具などの設備が古くて危険である | 8. 緑などの自然が少ない |
| 9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない | |
| 10. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がない | |
| 11. 遊び場周辺の道路が危険である | 12. その他 () |
| 13. 特に感じることはない | |

子どもの権利に関する啓発についてうかがいます。

問 43 あなたは、子どもの権利に関する国際的な条約がある（日本も加わっている）ことを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 44 あなたは、子どもの権利に関してどう考えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 「すべての子どもに等しく子どもの権利がある」ということを、子どもたちにきちんと伝えなければならぬ |
| 2. 子どもは、自分自身の「子どもの権利」が尊重されることにより、他の人の権利を尊重することや人権の大切さを学ぶべきである |
| 3. まず大人が一人ひとりの「子どもの権利」を守ることが大切である |
| 4. 子どもに権利ばかり教えるとわがままになるので、同時に義務や責任も教えないといけない |
| 5. 義務を果たせない子どもに権利はないと思う |
| 6. その他 () |

子育てに関する情報提供についてうかがいます。

問 45 あなたは普段、子育てに関する情報はどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. 親族（親、兄弟姉妹など） | 2. 近隣・地域の知人 |
| 3. 友人 | 4. 子育てサークルの仲間、子育て中の仲間 |
| 5. 保育所、幼稚園、学校 | 6. 市役所 |
| 7. 市の広報 | 8. 豊橋子育て情報ハンドブック |
| 9. 子育て情報紙すくすく | 10. 病院など医療機関 |
| 11. テレビ、ラジオ、新聞 | 12. 子育て雑誌・育児書 |
| 13. WEB サイト（⇒よく使うものは？ 市ホームページ・市子育て支援情報ポータルサイト「育なび」・それ以外） | |
| 14. SNS*（⇒よく使うものは？ facebook ・ twitter ・ その他 () | |
| 15. コミュニティー誌 | 16. その他 () |
| 17. 情報の入手先がない | 18. 情報の入手手段がわからない |

※SNS…情報交換や交流を目的とした、インターネット上でのソーシャルネットワークサービス

問 46 市が提供する子育て情報について、当てはまると思う番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てする中で必要な情報が、分かりやすく提供されている
2. どこに聞けばよいか、または、何を見ればよいか分からない
3. 色々な窓口に分かれていて、個別に聞かないと情報が入手できない
4. 子育て情報の案内をしてくれる総合窓口があるとよい
5. その他（ ）

安心して子育てできる環境についてうかがいます。

問 47 子育てを取巻く環境について、困ることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない
4. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ない
5. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配である
6. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る
7. 荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ない
8. その他（ ）
9. 特に困ることはない

防災に対する意識についてうかがいます。

問 48 2011年に東日本大震災がおき、この地域でも南海トラフ巨大地震が来ると言われていますが、子どものいる家庭として、どのような防災対策を行っていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どものための食料・飲料水の備蓄（乳幼児用、アレルギー対応食品など）
2. 子どものための非常持ち出し品の準備
3. 家具の転倒防止や配置の工夫など、家の中の安全確保
4. 家族で避難場所や緊急連絡先の確認
5. その他（ ）

最後に、豊橋市に期待することについてうかがいます。

問 49 豊橋市の教育・保育環境をさらに充実させる上で、何を期待しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育所、幼稚園、学校の施設を改善する
2. 教師、保育士などの人数を増やす
3. 教師、保育士などの資質を高める
4. 自然とのふれあいや体験学習の機会を増やす
5. 年齢の異なる子ども同士の交流機会を増やす
6. 国際交流の機会を増やす
7. お年寄りとの交流・福祉教育を充実させる
8. 保育所や学校等と父母の連携を密にする
9. 保育方針・学校の教育目標などを公開する
10. その他（ ）
11. 特に改善する必要はない



問 50 その他、豊橋市の子育て支援施策に関するご意見・ご要望（子育てで大切なことや問題点など）がありましたら、自由に記入してください。

大変お疲れ様でした。
調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

